

校長室から～学校長挨拶～

岐阜県立大垣南高等学校のホームページをご覧いただき、誠にありがとうございます。

本校は昭和24年に開校し、今年で創立77年目となる歴史と伝統のある高等学校です。今年度は新入生240名を迎え、全校生徒707名が在学しています。開校当初から建学の精神「堅実真摯」と校訓「勿謂今日不學 有來日（いことなかれ こんじつまなばずしてらいじつありと）」のもと、知・徳・体の調和のとれた人格形成を目指し、主体的に考える力・豊かな人間性・健全な心身を育み、自らの可能性を追求し、社会に貢献できる人材の育成を目標に、日々の教育活動に勤しんでいます。これまでに25,000人を超える卒業生がこの学び舎を巣立ち、地元の西濃地域はもとより国内外における様々な分野で活躍しています。

本校では、上級学校への進学を志す生徒の支援をより一層充実させるために、令和元年度に「単位制」に移行いたしました。この移行により、生徒が個々の進路希望に合わせて科目を選択し、より深く学習することができるようになりました。本校では、この特色を強みとして、既存の科目に加えて学校独自の科目を設定し、志望大学等に合わせた科目選択や難関大学向けの演習授業など、上級学校の受験を見据えた学習を可能としています。こうしたことなどを通じて、難関の国立大学、地元の国公立・私立大学に多数進学しています。

また、本校では部活動を教育活動の重要な柱として捉え、現在、運動系と文化系を合わせて17の部活動が日々活動に励んでいます。いずれの部活動も時間などの様々な制約が課される状況のもと、「質」を重視した活動の徹底を図っています。そうした中において、運動系部活動を代表するフェンシング部は県の強化指定部として全国大会での上位入賞や世界大会への出場を果たしています。高校卒業後においても競技を継続する部員が多く、関東・関西地方の強豪校にスポーツ推薦で大学進学しています。その一方において、文化系部活動を代表するオーケストラ部は弦楽器と管打楽器を演奏する岐阜県内で唯一の管弦楽部として日本最大の高校オーケストラの祭典である「全国高等学校選抜オーケストラフェスタ」に連続出場を果たしています。初心者でも楽器の演奏に興味があれば、専門の講師や顧問・先輩の指導のもと短期間で技能を身につけることができます。

学校での主役は、生徒の皆さん一人ひとりです。大垣南高等学校という舞台で、仲間とともに大いに学び、「未来を逞しく生き抜く力」を身に付け、自己の夢を叶えましょう。私たち教職員は丸となって、その夢の実現に向けて尽力して参ります。

岐阜県立大垣南高等学校

校長 種田 昭彦

